

# 梅花女子大学 児童文学・絵本センター報

第1号

2006年7月20日

編集・発行 梅花女子大学児童文学・絵本センター

〒567-8578 大阪府茨木市宿久庄2-19-5

事務局 鶴野祐介研究室 tel 072-643-6221 fax 072-643-7997 e-mail: uno@baika.ac.jp

## 「児童文学・絵本センター」設立のごあいさつ

梅花女子大学児童文学・絵本センター長 横山 充男

梅花女子大学文化表現学部児童文学科では、この度「梅花女子大学児童文学・絵本センター」を設立いたしました。本センターは、大学の地域貢献という社会的要請、および、卒業生の継続的な研究・創作・伝達の活動支援という卒業後のサポート体制面からの要請の下に、①学生や卒業生、そして一般市民の方々が児童文学や絵本の研究・創作・伝達について主体的・継続的に学んでいくことをサポートする、②学生や卒業生が、児童文学や絵本を通して地元・近隣地域の子どもや一般市民の方々と交流する場を設けることにより、「心の架け橋」としての児童文学の今日的意義と重要性を地域社会にアピールする、③そうした地域住民との交流を児童文学や絵本の伝達に関する実践研究に生かす、④児童文学・絵本に関する情報交換・発信のステーション（基地）となる、以上のような目標を掲げて、設立されました。

初年度の計画として、特に地域社会との連携・交流に力を注いでいきたいと考えております。学生や卒業生が、子どもの本を通して地元・近隣地域の子どもたちや一般市民の方々と交流できる、さまざまな機会を設けていきたいと思っております。つきましては、本センターの趣旨にご賛同いただき、数多くの学生・卒業生、そして一般市民の方々にご参加・ご協力をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

末尾ながら、本センターは「平成18年度梅花女子大学プロジェクト研究助成」を受けて開設に至ったことをここに記し、森脇理事長、中村学長をはじめ、関係者各位に心より御礼を申し上げます。

### <運営組織>

本センターは児童文学科、児童文学会および同窓会の助言・協力を受けながら、学科専任教員により構成されるセンター長および運営委員数名によって運営されます。センター長および運営委員は任期2年とし、互選されます。2006-2007年度の担当者は次の通りです。

センター長：横山充男

運営委員：加藤康子、鶴野祐介、田中裕之

事務局担当：鶴野祐介、氷室真理子（同窓会）

### <今年度の活動計画>

#### 1. オープンキャンパスにおける「絵本制作展示」および「絵本読み聞かせ会」

昨年をはじめて実施し、好評を博したオープンキャンパスでの「絵本制作展示」と「絵本読み聞かせ会」を、今年はさらにグレードアップして行います。7月22日（土）、8月5日（土）、6日（日）、19日（土）、20日（日）の5日間です。受験生以外の方でも、是非のぞいてみてください。

#### 2. 「第4回子どもの本フェスティバル in 大阪」の「梅花おはなしルーム」

活字文化推進会議・日本児童図書出版協会・(財)出版文化産業振興財団（JPIC）主催の、この「子どもの本のおまつり」には、毎年1万人を超える来場者があり、昨年私たちが開設した「楽しいおはなしルーム」にも、数多くの親子連れや子どもの本に関心を持つ方々が来室され、絵本や物語の世界を楽しんでいただきました。

今年も10月28日（土）、29日（日）の両日、大阪ビジネスパーク ツイン21で開催されます。昨年同様、学生制作絵本の展示と、「おはなし会」（30分、1日4回）、「絵本読み合いフリータイム」を企画しています。学生スタッフ募集中です。



### 3. 小梅祭における「梅花子どもの本フェスタ'06」

地元・近隣地域の子どもたちや一般市民の方々に、大学祭（「小梅祭」）開催中のキャンパスへ足を運んでいただき、学生・卒業生と一緒に、児童文学や絵本の楽しさを実感していただこうと、今年始めて企画しました。11月11日（土）、12日（日）の両日です。次のようなイベントや出し物を計画しています。

#### ☆「荒井良二 ワークショップ」

「ポーニャ国際児童図書展特別賞」（1999）、  
「アストリッド・リンドグレン記念文学賞」（2005）の受賞を始め、国際的に大活躍の絵本作家、荒井良二さんが梅花に来られます。どんなパフォーマンスが見られるか、ご期待ください！参加人数の制限を行うことがあります。詳しくは後日お知らせします。（12日）



#### ☆「児童文学科同窓生フォーラム」

児童文学科を卒業後、童話作家や絵本作家として現在活躍中の同窓生、手嶋洋美さん、楠 章子さん、井上林子さんをパネリストに、楽しいトークが聴けそうです。彼女たちの活躍をよく知っている卒業生の方のみならず、作家を夢見ている中学・高校生や大学生の皆さんも、ぜひお聞き逃しなく！（12日）

#### ☆「学生制作絵本展」

例年、小梅祭期間中に行っている「絵本展」、今回も多数の個性豊かな作品を見いただけます。（11-12日）

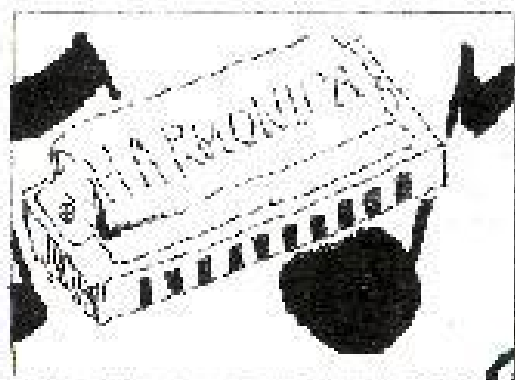
#### ☆「児童文学会 模擬店一駄菓子屋 with 手作り玩具」

学会委員を中心とする恒例の模擬店、今年は駄菓子屋を開店します。（11-12日）

#### ☆「児童文学会卒業生絵本展&雑貨販売」

卒業後も絵本制作を続けている卒業生に作品を出展していただく他、小物などの雑貨の販売も予定です。（11-12日）

#### ☆「もり・けんハーモニカ・コンサート」



本学科非常勤講師（「児童書出版編集論」）であり、日本を代表するハーモニカ奏者でもいらっしゃるもり・けんさんのアットホームなコンサート。会場の皆さんも一緒に、童謡やわらべうたを歌いましょう。（12日）

#### 4. 「梅花おはなし便」

個人宅での誕生日会、幼稚園や図書館、学童保育、病院小児病棟など、子どもたちが集まる場所に出かけて絵本を読みあう「おはなし会」グループです。みんなで絵本を読む時間をサポートするのは、児童文学科の学生と卒業生です（今年度スタッフ：吉村裕美・平田朋子、他）。ご希望に合わせたプログラムで、絵本の世界に心はずませる楽しいひとときをお届けします。ご希望の向きはセンター事務局までお問い合わせください。

- ・対象年齢：3歳から10歳ぐらいまで
- ・プログラム所要時間：30分から60分ぐらいまで
- ・活動時間：10:00～19:00
- ・無償ボランティアですが、交通費（実費分）を頂戴します。

#### 5. 近隣の小学校における「梅花おはなし会」

今年度は茨木市立豊川小学校と茨木市立水尾小学校で、月1回、朝9時から30分間の「おはなし会」を行っています。プログラムは対象学年や季節に合わせて学生スタッフが決められています。スタッフは2名のリーダーと公募による数名からなり、事前に十分練習を積んでもらいます（今年度スタッフリーダー：平田朋子・仲田あゆみ）。

[今年度 10月以降の実施予定]

- ・豊川小学校：10月5日、11月2日、12月7日
- ・水尾小学校：10月19日、11月16日、12月14日
- \*すべて木曜日 9:00～9:30



#### 6. その他

スタッフ登録とネットワークの構築、専門家を招いての勉強会、活動計画や実施状況等に関する文書（「センター報」他）の作成など。

#### <学生・卒業生スタッフ募集中！>

児童文学・絵本センターでは、「梅花おはなし便」、「梅花おはなし会」、「梅花子どもの本フェスタ」「子どもの本フェスティバル in 大阪」等のスタッフを募集しております。学生・卒業生の皆さん、是非ご応募ください。お申込はセンター事務局（鶴野）まで。連絡先は本紙1ページをご参照ください。

#### <編集後記>

今から100年前、エレン・ケイは「20世紀は児童の世紀」と高らかに謳った。彼女の言葉は残念ながら実現したとは言えないが、これに倣って、「21世紀は児童文学の世紀」と宣言してはどうだろうか？そしてこの宣言が、これから残り94年の間に世界中で実現するために、私たちにできることからまずは始めていこう。児童文学や絵本が大好きな学生たちや卒業生たちとともに——。それが本センター創設に当たっての「願はなき願い」です。 （鶴野祐介）